

## みんなで作る ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする  
取り組みを紹介します。



伊丹市内の社会福祉法人同士が協力して地域公益活動を推進する「伊丹市社会福祉法人連絡協議会(以下「連絡協議会」)」では、福祉の仕事の魅力を伝えるリーフレットを作成するんだって。地元の中学生・高校生にも、福祉の仕事を知ってもらって、福祉の仕事のイメージアップや福祉学習にもつなげていこうと考えているよ。

### 法人連携のアプローチ 「福祉人材の確保」

伊丹市では、平成20年度より市内の社会福祉法人が集まり、住民が抱える生活・福祉課題への対応や社会福祉法人の地域公益活動を推進する場づくりを進めている。現在は福祉現場で共通の課題となっている「福祉人材の確保」に向けて力を注いでいる。

「個々の社会福祉法人では解決が難しい共通の課題は、法人同士がつながってアプローチしていくことが重要」と、連絡協議会の河原さん(社会福祉法人明照会理事長)は語る。

### 福祉の仕事は、クリエイティブ

幅広い世代の人に福祉の仕事に就いてもらうための第一歩は、地域住民や子どもたちに興味や関心を持ってもらうことだ。福祉の仕事の魅力を共同発信するため、平成27年度から各法人の若手職員によるワーキングチームを結成し、リーフレットの作成を進めている。企画の場面では、福祉の仕事のイメージアップにつながるよう、福祉の職場で生き生きと働く魅力的な人たちの思いや趣味、プライベートに関

## 「福祉の仕事」の魅力を協働して発信！

～伊丹市社会福祉法人連絡協議会のチャレンジ～

するインタビューなどを盛り込むと多様なアイデアが飛び交う。

河原さんは、「子どもたちの将来の夢の中に、『福祉の仕事』が挙がってほしい。これからは社会福祉法人の取り組みが、地域を創る仕事の代表になるような『福祉の仕事』のブランド戦略を持つことが必要だ。特に地元で働きたい人に向けて、地域の安心・安全の一翼を担うクリエイティブな仕事として、福祉の仕事の魅力を発信していきたい」と意気込む。今後は、市内の中学校・高校との連携を強化するとともに、7月には大型ショッピングモールでのPRイベントなども予定している。

### 地域の生活・福祉課題に みんなで取り組む

これからの連絡協議会の展開に



7月のイベント、リーフレットの作成に向けてワーキングチームの議論にも熱が入ります！

ついで、事務局を担う伊丹市社会福祉協議会の白井地域福祉推進室長は、「生活困窮や災害時の支援、地域づくりといった地域の生活・福祉課題は、行政や自治会、民生委員・児童委員だけでなく、NPOや社会福祉法人なども一緒になってみんなで考えていく必要がある。社会福祉法人が協働して地域の公益活動を担うことができれば」と話す。連絡協議会の情報発信により、みんながつながり、地域福祉が一層推進できるようなネットワークづくりが期待される。

### 取材を終えて

伊丹市内の社会福祉法人は、今までも法人間のつながりを大切に活動してきました。高齢、障害、保育といった種別を越えて一致団結した社会福祉法人連絡協議会の新たな取り組みは、地域福祉のより一層の推進につながっています。

伊丹市社会福祉法人連絡協議会事務局  
伊丹市社会福祉協議会  
伊丹市広畑3-1 いたみいききプラザ2階  
TEL 072-779-8512